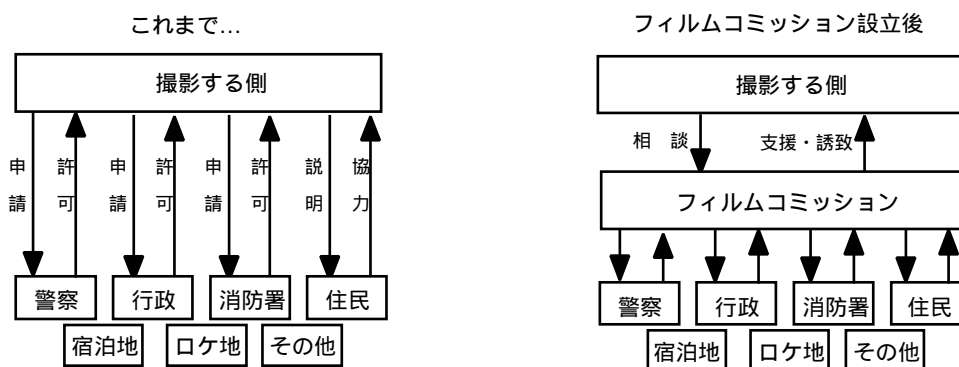


文化現場アーツカフェ Vol.1 レジメ

新潟にもフィルムコミッションを！

フィルムコミッションとは

- ・フィルムコミッション（Film Commission = 略称FC）は、映画、テレビ番組、CMなどのロケ撮影を誘致し、支援活動を行う官民共同の団体
- ・フィルムコミッションは映画制作会社に対しロケ地を提案、撮影準備に入れば面倒な許可申請を代行する。撮影隊の宿泊するホテル・旅館の紹介や、必要とする人材のあっせんもする。これらはすべて無料
- ・公的な団体が支援することで撮影許可や住民への説明もよりスムーズになる
- ・撮影する側にとっては、ロケ地探しや警察、公共機関、消防署などさまざまな役所への説明、許可申請などの手間が省け、限られた制作費をより作品の内容に注ぎ込むことができる



全国の現状

昨年から全国各地で続々と誕生

大阪、横浜、神戸、北九州、金沢、高岡(石川)、上田(長野)、香川、長崎、北海道、東京など

なぜ今、FCが注目されているのか？

- ・少子・高齢化 交流人口への注目、街の新たな魅力づくり
- ・工場誘致など既存の産業振興政策の行き詰まり
- ・シネコン現象や映像のデジタル化による映画産業・ソフトの盛り返し

ロケ撮影誘致による地域のメリットは？

- 1、知名度アップ
- 2、経済的な波及効果
- 3、観光客の増加
- 4、新しい産業の創出
- 5、人材の育成・創出
- 6、見慣れた風景の再発見

新潟と映画

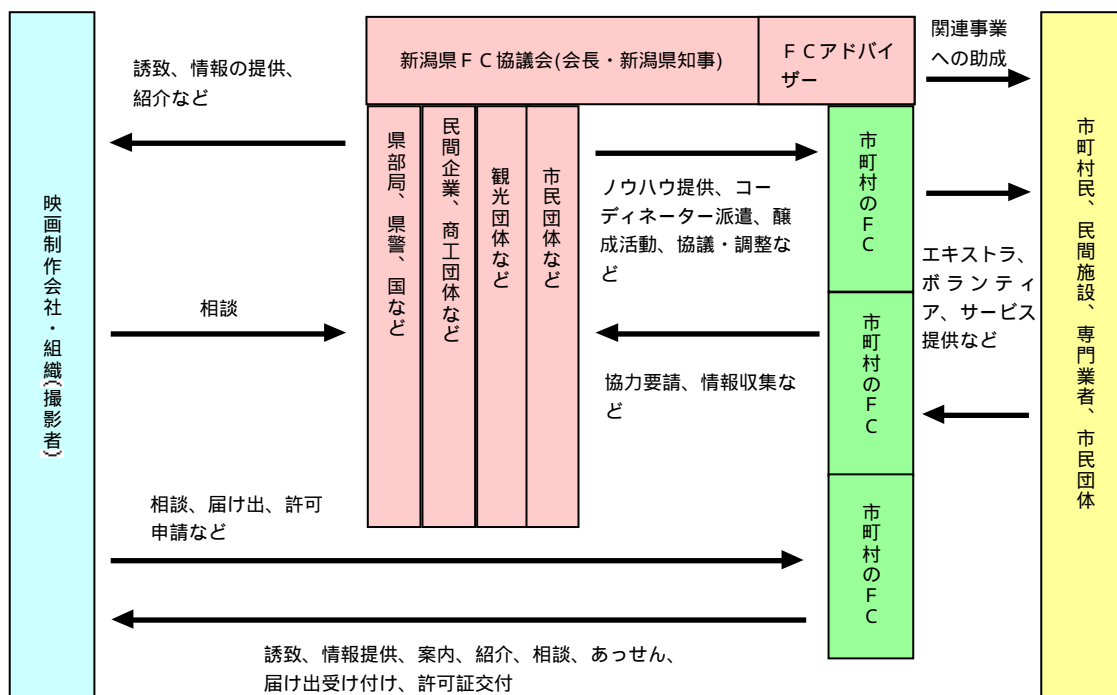
- ・戦後、確認できた映画だけでも50本近い作品が新潟でロケを行っている。
- ・1998年、新潟市、新津市、巻町、松之山町などで手塚眞監督「白痴」が撮影され、県民1,000人近くが協力
- ・近年は「HANA - B I」「顔」「ホワイトアウト」など話題作も新潟県内でロケがされている

- ・昨年は篠原哲雄監督が新潟市で音楽ビデオを撮影、三池崇史監督「ビジターQ」はオール新潟市、豊栄市で撮影
- ・今年には月岡温泉で「新・雪国」が撮影
- ・半面、新潟のある偉人を紹介した今年のテレビ番組では、再現ドラマの撮影は新潟で行われなかった。フィルムコミッションのような窓口がなかったため

にいがた映画塾が考える「にいがたFC」のあり方

- ・組織は行政や経済団体、各種関係団体で構成。手法は住民参加
- ・県はコーディネーター的な役割、市町村は実務（住民への呼び掛け、許可申請）を担当
- ・映画はみんなが盛り上がる「イベント」（＝楽しい）という認識を普及させる
- ・さらに、FCの大きな目標は「住民による地元の再発見と新たな誇りづくり」に重点を置き、市民団体やボランティア団体などの手法をとり入れる

撮影支援のチャート図



設立へと盛り上げるための方策

- ・行政や経済団体、各種団体なども参加した研究会の設立
- ・シンポジウム開催による住民への広報
- ・まず一本、大きな映画を誘致する
- ・その他 アイデアを募集！

ご協力下さい！ 具体的な協力方法はご相談下さい！

にいがた映画塾（担当 星 龍雄）

〒950-0086 新潟市花園2-3-2 飛鳥ビル

事務所電話・FAX 025-248-9088（夜7時以降）（星携帯 090-5328-7705）

メール mail@n-eigajyuku.com

H P http://www.n-eigajyuku.com/